

キラ★サポ

島根県男女共同参画サポーター

島根県では、男女共同参画社会の実現に向けた取組みのひとつとして、県や市町村と一緒に啓発活動を行う「島根県男女共同参画サポーター」（愛称：キラ★サポ）を委嘱しています。キラ★サポは、身近なところから男女共同参画を感じてもらい取組みをするなど、地域の実情に応じたきめ細やかな活動を行っています。

こんな活動を行っています！

キラ★サポ

113名（令和2年3月1日現在）

安来市 防災避難所運営ゲーム (HUG) の実施



キラ★サポが安来市と協働して、地域住民に災害時の避難所の運営をカードゲームで疑似体験してもらいました。キラ★サポが進行役となり、男女共同参画の視点からアドバイスをしながら、被災者をニーズ等どのように対応していくか参加者全員で考えました。

〈参加者の声〉

- ・女性の意見を聞きながら避難所を運営することが大切だと感じた。
- ・女性も積極的に発言していくことが大切だと思った。

津和野町 寸劇「夫婦間のモラル ハラスメントについて」の上演



県が実施する地域住民向けの講座の中で、キラ★サポが津和野町の男女共同参画担当職員と協力して夫婦間のモラルハラスメントをテーマとした寸劇を行いました。講座に寸劇を取り入れることで、参加者の理解はより深まりました。

※本講座は、（公財）しまね女性センターが県からの委託事業として実施したものです

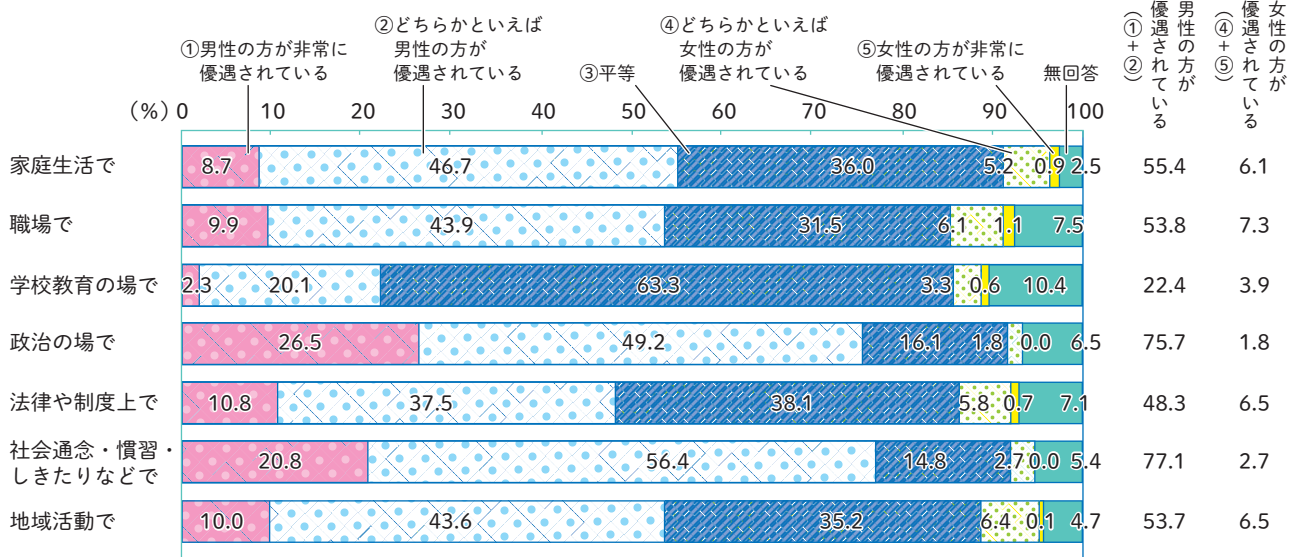
〈参加者の声〉

- ・寸劇が面白くわかりやすかった。
- ・相手の気持ちがわかる人間になりたいと思った。

★その他の活動事例

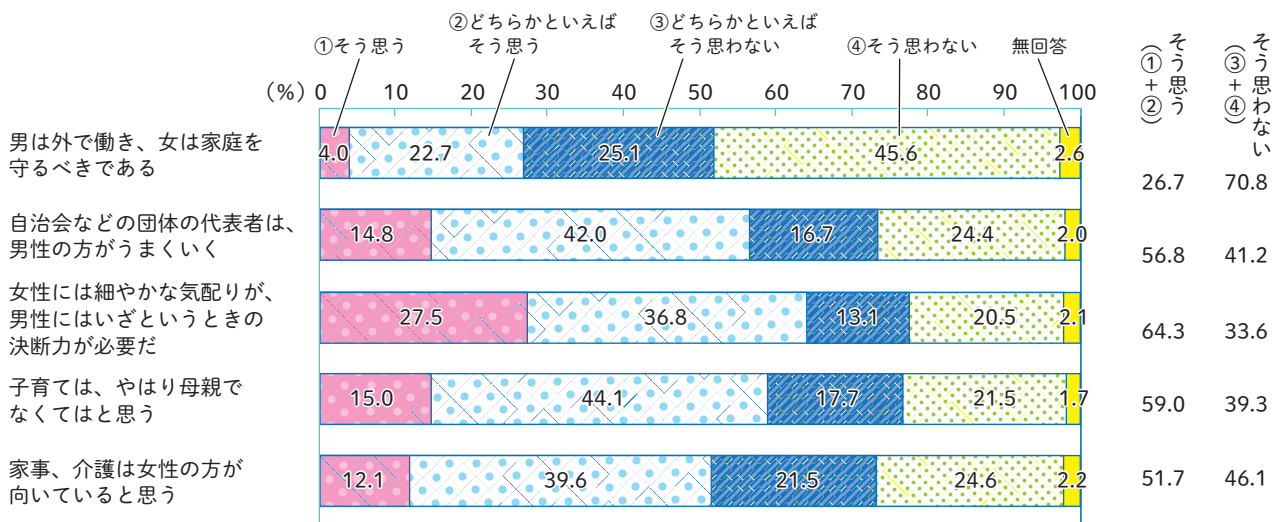
- ・男女共同参画の視点を取り入れた読み聞かせ活動
- ・男女共同参画かるたを使ったグループワーク等の実施

男女の地位の平等感



男女の地位の平等感について、「学校教育の場」以外の分野では「男性の方が優遇されている（計）」が4割以上を占めています。多くの分野で男性優遇の意識が残っていることがうかがえます。

固定的な性別役割分担意識



固定的な性別役割分担意識に関する5つの事柄について、「男は外で働き、女は家庭を守るべきだ」という意識に否定的な回答は約7割ですが、それ以外の4つの事柄は肯定派が過半数を占めています。地域活動や家庭内などで固定的な性別役割分担意識が残っていることがうかがえます。

令和元年度「男女共同参画に関する県民の意識・実態調査」より

お問い合わせ

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

島根県 政策企画局 女性活躍推進課 男女共同参画グループ

TEL.0852-22-5629 FAX.0852-22-6155

島根県男女共同参画サポーター

キラ☆サポに聞いてみました!

Q：キラ☆サポになったきっかけ

A：行政職員として男女共同参画に関わり、「男性・女性はこうであるべき」という意識を変えていく啓発の必要性を感じていたところ、退職時にサポーターの依頼を頂き、チャンスだと受け止めたことがきっかけです。

Q：活動に対する思い

A：活動を継続していく中で、男性の意識は徐々に変わりつつあると感じていますが、女性は性別による固定的な考え方や、組織として活動することへの苦手意識があるように思います。私自身が色々な役を受けることや啓発活動を通して、女性の意識を少しずつでも変えていければと思っています。

Q：今後の活動に対する抱負

A：定期的な啓発活動の他に地域が抱える課題について、「共に考え」、「共に取り組もう」とする女性が増えるように、ひいては、女性が主体的に動けるまちづくりへ繋がるように活動していきたいです。



浜田市 馬場 真由美さん

●サポーター歴
平成19年5月～

●主な活動
地域活動へ女性が参加しやすい環境づくりに向けた取組み



Q：キラ☆サポになったきっかけ

A：妻である自分が家事を頑張らねばと思い奮闘したことで体調を崩した経験を通して、改めて男女共同参画とは何かを考えたことがきっかけです。

Q：活動に対する思い

A：自身の経験を通して人々がお互いに思いやりをもつことが大切だと思っています。私の地域では特に高齢世代で男女共同参画が十分に進んでいないと感じるので、今後も少しずつ啓発活動を行うことが大切だと思っています。

Q：今後の活動に対する抱負

A：これまで市のサポーターで集まって絵本を作る活動に積極的に参加しました。今後も読み聞かせや寸劇を通して地域へ啓発活動を行ってきたいです。

雲南市 高木 千織さん

●サポーター歴
平成19年5月～

●主な活動
絵本の読み聞かせ、寸劇

Q：キラ☆サポになったきっかけ

A：1ターンで川本町へ移住した時から、公民館で地域向けのイベントの企画や運営をしてきました。その活動をする中で町からお声がけをいただいたことがきっかけです。

Q：活動に対する思い

A：活動のひとつとして、女性の地域行事への参画を促すため、「食」をテーマに子育て世代の女性と地域の方が交流する場を設けています。このような活動を通して、周りの人に何事にも性別に関わりなく一緒になって活動することの大切さを感じてもらいつつ、日々実践するきっかけにしてもらえたら嬉しいです。

Q：今後の活動に対する抱負

A：自ら活動に興味を持ち楽しむことで、周りの人も楽しく参加してくれているように感じます。今後も皆で楽しく活動できるように工夫をしながらイベントの企画や運営をしていきたいです。



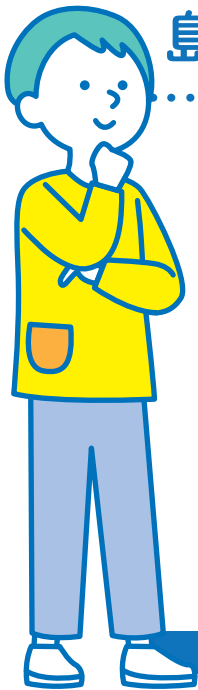
川本町 大友 葉子さん

●サポーター歴
平成30年6月～

●主な活動
公民館を拠点とした活動の企画・運営

キラ☆サポって
どうやったらなれるの？

島根県男女共同参画サポーター制度について



Q1：サポーターになる方法は？

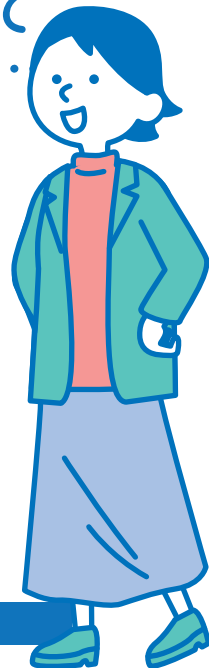
A1：市町村から推薦いただいたいただき、知事が委嘱しています。詳しくは、お住まいの市町村の男女共同参画行政担当課へお問い合わせください。

Q2：任期はあるの？

A2：3年間です。継続して活動したい場合は更新が可能です。

Q3：活動経費は支給されるの？

A3：活動実績の報告に合わせて支給する制度を設けています。



詳しくは島根県ホームページをご覧ください。

興味があるけど難しそう…
キラ☆サポになりたいけど不安…

キラ☆サポ活動について

●男女共同参画に関する知識が浅く、自信がない…

男女共同参画に関する知識や地域での活動に求められるスキル等を磨く研修を実施しています。

●活動する場を作るのが大変…、家庭や仕事もあるため定期的に活動できない…

活動の方法や頻度はキラ☆サポによって様々です。県や市町村が実施する地域住民向けの講座や街頭啓発活動等に協力いただいている方もいます。



▲サポーター研修の様子

公益財団法人しまね女性センター

Tel:0854-84-5514 (事業課) / Fax:0854-84-5589

〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ236-4

男女がともに社会の対等な構成員として個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現に向けた事業を実施しています。そのひとつとして、キラ☆サポを対象に研修や活動へのアドバイス等も行っています。